

令和3年11月 18 日

報道関係各位

名古屋市立大学芸術工学部事務室
事務長 木村 充江 (電話: 052-721-1225)

【コロナ病棟の患者・医療スタッフのためのヘルスケアアートを寄贈】 東部医療センターで贈呈式・記者発表 11月25日(木)14時半～

名古屋市立大学芸術工学部には、20年以上に渡るヘルスケアアートの実績があり、平成30年度からは文化庁からの支援をいただき、ヘルスケアアートのマネジメントのできる人材育成を目指し、講座やワークショップを開催してまいりました。令和3年度は、7月下旬からオンラインでワークショップ「コロナ病棟の患者さんやスタッフの皆さんにアートを届けよう！」を実施し、全国からの参加者とともに地元の文化施設・企業の協力も受け、コロナ病棟の患者・医療スタッフのためのヘルスケアアートを企画・制作しました。

つきましては、下記の通りヘルスケアアートの贈呈式と記者発表を行います。

オンラインサービスや地域連携を活用したコロナ禍における本学の取組みについて、ぜひご取材をお願いいたします。

記

【日 時】令和3年11月25日(木)14時半～

【場 所】名古屋市立大学医学部附属東部医療センター 救急外来棟4階 多目的ホール
(〒464-8547 愛知県名古屋市千種区若水1丁目2-23)

【出席者】鈴木賢一(名古屋市立大学芸術工学研究科教授、なごやヘルスケア・アートマネジメント事業実行委員長)
大手信之(名古屋市立大学医学部附属東部医療センター病院長)
村井俊介(名古屋市立大学医学部附属東部医療センター高次ウイルス感染症センター副センター長)
松本直樹(東山総合公園広報営業主幹)
ワークショップ参加者・関係者

【内容(予定)】

1. ヘルスケアアートの贈呈式
2. 本取組みについての説明(2枚目参照)
 - ・寄贈したヘルスケアアートの紹介
 - ・ワークショップについての事業報告(全国からの参加者や地元の文化施設・企業との連携等)
3. 質疑応答

※贈呈式・記者発表に参加いただける場合は、事前に下記までメールでご連絡をいただくと助かります。

<お問い合わせ先>

〒464-0083 名古屋市千種区北千種2丁目1-10 名古屋市立大学芸術工学部事務室学務係
電話 052-721-1225 FAX 052-721-3110 E-Mail healthcare_art@sda.nagoya-cu.ac.jp
なごやヘルスケア・アートマネジメント事業 HP <https://healthcare-art.net/>

アートで
ケア環境を元気に!!



なごやヘルスケア・アート
マネジメント推進プロジェクト

大学から
文化力
POWER OF
CULTURE



令和3年度文化庁 大学における文化芸術推進事業
ヘルスケアアート活動をつなぐオンラインネットワーク
の構築 コロナ社会の医療福祉環境改善に資するアートマネジメント

コロナ病棟に寄贈したヘルスケアアートの紹介

【患者向け】病室に出現する自然と動物の空間アート

「自然を感じるパーテーションアート」「動物が励ましてくれる日常グッズアート」

病室でも自然を感じて安心できるように、風景や動物を用いた癒やしの仕掛けを用意しました。パーテーションにグッズをかざしてこの2つを一緒に体験すると、地元の東山動植物園や、身近なかわいい動物たちが、病室にお見舞いに訪れます。QRコードからは、さまざまな動物たちのメッセージを見ることができます。

協力：東山動植物園（動物の画像やイラスト提供）、株式会社サンゲツ（壁紙シート出力と貼り作業の協力）



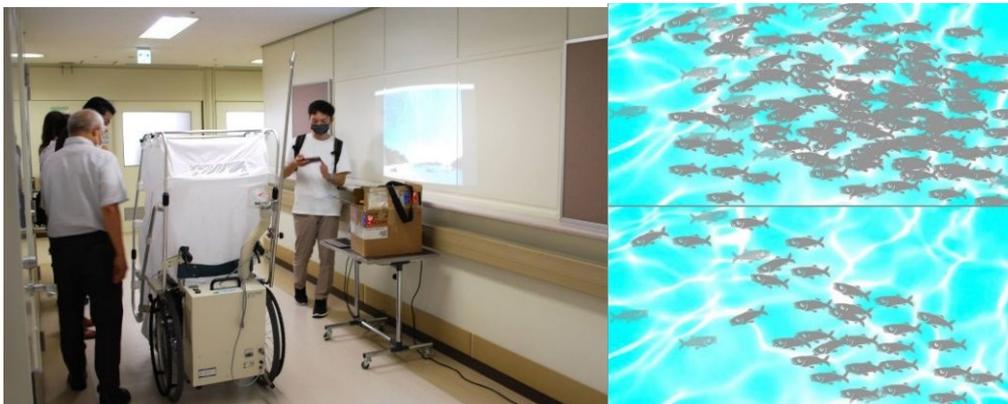
左：トイレパーテーションのイメージ画像

中：東山動植物園の動物をあしらった紙コップとティッシュボックスイメージ画像

右：犬猫をあしらった紙コップの試作

【スタッフ向け】「自然の風景や魚が泳ぐデジタルアートで気分転換を」

病棟廊下の無機質な壁面に映像を投影し、季節感や癒しを提供します。音に反応して魚が動いたり、時間帯によって風景が変わるなど、変化のあるコンテンツを予定しています。



左：投影場所を決めるための現場見学の様子。廊下の通行を妨げないかのチェックなど。

右：投影映像の試作のひとつ

**ワークショップ「コロナ病棟の患者さんやスタッフの皆さんにアートを届けよう」
事業報告**

【運営主体】名古屋市立大学 なごやヘルスケア・アートマネジメント推進事業

【講師】鈴木 賢一(名古屋市立大学教授、なごやヘルスケア・アートマネジメント推進事業実行委員長)
篠原 佳則(安井建築設計事務所名古屋事務所副所長、NPO 法人子ども健康フォーラム理事)

【ファシリテーター】吉岡 純希(株式会社 NODE MEDICA 代表、看護師、デザインエンジニア)
高野 真悟(彫刻家、東部医療センター新病棟ヘルスケアアーティスト)

【病院側アドバイザー】村井 俊介(医師/東部医療センター 高次ウイルス感染症センター副センター長)

【一般参加者】ヘルスケアアートとそのマネジメントに興味のある方
(学生、医療福祉施設スタッフ、デザイナー、建築設計等。愛知や関東など全国から10代～60代の幅広い層の方が参加)30名

【開催スケジュール】第1回 7/26 ガイダンスと医療者・建築家からの説明
第2回 8/9 アート事例の紹介とアイデア出し
第3回 8/23・第4回 9/6 グループでのアートの企画検討
(9/15-22 病院へアートの提案とアンケート実施)
第5回 9/27 アンケート結果の振り返りと実施アートの発表
第6回 10/11 実施に向けた検討
11/25 贈呈式

※詳細は下記の事業 HP を参照ください

企画実施 WS「コロナ病棟の患者さん&スタッフの皆さんにアートを届けよう！」について

<https://healthcare-art.net/news/notice/entry-232.html>